

事業名：経済活動広報事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
			プログラム	① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市民	
手段（事務事業の内容、やり方）	
市内の経済・産業・企業を紹介する記事を市内各世帯に配布されるフリーペーパーに掲載する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市内の経済・産業・企業を市民に周知し、市内産業や市内企業を応援する市民を増やすとともに、企業間連携のきっかけを作る。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市民	人	0	0	120,802	120,335
対象指標 2	世帯数	世帯	0	0	54,921	55,236
活動指標 1	年間発行回数	回	0	0	1	6
活動指標 2						
成果指標 1	広報した産業・企業数	件	0	0	4	6
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	900	900
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,565	1,564
総事業費 (A+B)		千円	0	0	2,465	2,464

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	市内の経済・産業・企業を紹介する記事を市内各世帯に配布されるフリーペーパーに掲載する。	フリーペーパー広報記事掲載委託費 900千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性	フリーペーパーの活用による広報回数増加（年1回→年6回）	減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：商工業活性化事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化					
			プログラム	① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援					
開始年度	平成 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
①中小企業団体 ②中小企業者 ③商店街団体 ④個人	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・市内の経済活性化を図るため、中小企業や商店街等が行う事業に対して補助する。 ・共同施設等の整備や土地取得費、商店街の景観向上整備（ハード事業）や、人材育成、新製品・新技術の開発、販路拡大等（ソフト事業）に対する補助メニューがある。 ・事業申請書を提出し、補助事業の指定を受けたのち補助金を交付する。 ・事業終了後は報告書を提出する。 ・「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「江別市商工業活性化事業補助要綱」に基づき、市内の商工業の活性化に対する効果が認められる事業に対し、補助率1/10～7/10の範囲内（限度額40～8,000千円）で補助する。 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
共同施設の改善や商店街の景観向上、イベントや新商品開発等により事業者の活力向上並びに商店街の魅力を高め集客を図る。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	中小企業所数	所	3,584	3,409	3,614	3,409
対象指標 2	商店街組合数	件	8	8	8	8
活動指標 1	補助金額	千円	4,602	4,543	6,585	6,185
活動指標 2						
成果指標 1	補助金の活用件数	件	31	28	40	35
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	4,602	4,543	6,585	6,185
正職員人件費 (B)		千円	1,202	1,953	3,912	3,129
総事業費 (A+B)		千円	5,804	6,496	10,497	9,314

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の経済活性化を図るため、中小企業や商店街等が行う事業に対して補助する。 ・商店街の建築協定に基づき、れんがによる景観向上等に補助する。 	・補助金6,185千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				
		改革方向性（成果）		
		向上		
		維持	○	
		低下		

事業名：江別経済ネットワーク事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
			プログラム	① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援				
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	大学、研究機関、企業など経済ネットワークの参加者
手段（事務事業の内容、やり方）	例会（講演、研究成果発表、情報交換等）の開催
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	参加者間の連携を進め、研究や事業活動を活性化する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	経済ネットワーク会員数	名	0	218	227	220
対象指標 2						
活動指標 1	経済ネットワーク例会開催回数	回	4	6	6	6
活動指標 2						
成果指標 1	例会参加者数	人	129	210	150	150
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	71	63	417	341
正職員人件費 (B)		千円	2,405	2,344	3,521	3,129
総事業費 (A+B)		千円	2,476	2,407	3,938	3,470

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・経済ネットワーク例会 ・セラミックス交流会 	<ul style="list-style-type: none"> ・講師謝礼 56千円 ・取組成果広報経費等 234千円 ・セラミックス交流会 ミニチュアれんが教室事業費 29千円 ・「北海道遺産ロゴシール」作成業務委託 22千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
27年度への改善方向性			減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持		○	
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：食を軸とした観光誘客・地場産品販路拡大事業 商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
			プログラム	② マーケティングの視点に基づいた産業振興				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
中小企業者	
手段（事務事業の内容、やり方）	
北海道や北海道貿易物産振興会が実施する北海道産品取引商談会への参加等、マーケティング支援を最大限活用し、地域内・地域外での積極的な地場産品の販売戦略等を江別市が関係団体等と連携しながら推進する。また、地場産品の販売にあわせて江別の観光プロモーションを行なうことにより、観光客誘客促進などにつなげる。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
販路拡大を支援することにより、市内中小企業の経営基盤の安定・観光客誘客による経済活動の振興、さらにはバイヤーとの繋がりによる地場産品の掘り起こし・高付加価値化を図りながら経済活動の活性化及び雇用創出や税収増加などの効果を図る。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	中小企業所数	所	3,584	3,409	3,584	3,409
対象指標 2	観光協会会員数	会員	179	175	180	180
活動指標 1	商談会・催事出展件数	件	4	2	4	4
活動指標 2						
成果指標 1	商談会・催事出展企業数	社	29	2	29	29
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	517	602	355	243
正職員人件費 (B)		千円	2,405	2,344	1,956	1,956
総事業費 (A+B)		千円	2,922	2,946	2,311	2,199

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> 江別産品試食評価相談会開催 北海道どさんこプラザ・きたキッチン・札幌地下歩行空間マーケティングテスト販売 北海道産品取引商談会出展支援 	<ul style="list-style-type: none"> 江別産品試食評価相談会 113千円 マーケティングテスト販売 31千円 北海道産品取引商談会出展支援 58千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：野幌駅周辺地区商店街活性化促進事業 商工労働課参事（商店街活性化）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化					
			プログラム	③ 地域に根差した商店街の魅力づくりの支援					
開始年度	平成26年度	終了年度	平成28年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
野幌商店街	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の解決を目的としたコーディネーターを常設し支援を実施する。 ・「野幌駅周辺地区商店街活性化促進補助要綱」に基づき、野幌商店街の要請により出店するテナントに改装費の1/2（上限：300万円）や家賃の1/2（1年間、月額上限5万円）を補助する。 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 街路事業に伴う野幌商店街の再編整備に係る地域課題が解決される。 2. 野幌商店街の集客力が向上される。 	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	野幌商店街	団体	0	0	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	コーディネーター数	人	0	0	1	1
活動指標 2	補助金額	千円	0	0	3,500	3,600
成果指標 1	相談件数	件	0	0	120	240
成果指標 2	誘致件数	件	0	0	1	1
事業費 (A)		千円	0	0	8,581	8,548
正職員人件費 (B)		千円	0	0	2,347	1,956
総事業費 (A+B)		千円	0	0	10,928	10,504

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の地域課題を解決するコーディネーターを常設 ・商店街の要請により出店するテナントに対し改装費や家賃を補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター委託費 4,948千円 ・誘致テナントへの補助金 3,600千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上		
		維持		
		低下		

事業名：商店街参入促進事業

商工労働課参事（商店街活性化）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	③ 地域に根差した商店街の魅力づくりの支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	平成28年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
コミュニティ活動啓発セミナーの開催により高齢者や学生の商店街での活動参入を促し、参入希望者へのサポート事業を実施する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
多様な主体や様々な世代が交流するコミュニティの場として、商店街の賑わいをもたらす。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市民	人	0	0	120,802	120,335
対象指標 2						
活動指標 1	セミナー開催数	回	0	0	1	1
活動指標 2						
成果指標 1	セミナー参加者数	人	0	0	50	50
成果指標 2	サポート事業実施数	件	0	0	2	2
事業費 (A)		千円	0	0	792	750
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,565	1,564
総事業費 (A+B)		千円	0	0	2,357	2,314

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活動啓発セミナーの開催 ・活動参入者へのサポート事業の実施 	コミュニティ活動啓発セミナー開催及び参入サポート事業に係る委託経費 750千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上		
		維持		
		低下		

事業名：総合特区推進事業

参事（総合特区推進）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の 基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化					
			プログラム	④ 大学・研究機関との共同研究の推進					
開始年度	平成24年度	終了年度	平成28年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区（区域）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> 関係自治体等で構成される協議会等に参画し、道内3地域連携のもと、食の付加価値向上に向けた共同事業等を推進する。 大学、研究機関等との連携を推進し、食品の機能性検証システムを構築する。 市内食品メーカーによる高付加価値食品の開発や海外での市場開拓・販路拡大等を支援する。 機能性食品開発支援補助金（H27～）：食の臨床試験に関する企業相談や試験結果の論文化に対し補助を行う。 海外市場開拓等促進補助金（H25～）：海外市場開拓等促進補助金交付要領に基づき、市内で生産した加工食品・農畜産物の輸出等をすすめる企業等に補助金を交付する。（補助率：対象経費の1/2） 江別市におけるフード特区の取組みを首都圏の企業にPRするフード特区広報事業を実施する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
食関連産業の立地環境（事業しやすい環境、取り組みやすい環境）が整備され、道内外の食品メーカー・研究施設が市内に新規立地するようになるとともに、市内既存食品メーカーが事業を拡大するようになる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標1	特区協議会の構成員数	団体	88	89	90	90
対象指標2						
活動指標1	食品の臨床試験ボランティア登録者数	人	1,738	3,052	4,000	6,000
活動指標2	補助金額	千円	9,998	10,061	10,633	7,000
成果指標1	食関連企業の新増設数	社	0	0	1	2
成果指標2						
事業費（A）		千円	11,944	14,412	18,461	8,470
正職員人件費（B）		千円	12,024	11,720	11,736	15,644
総事業費（A+B）		千円	23,968	26,132	30,197	24,114

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> フード特区機構の運営に係る経費の負担金を支出。 機能性食品開発を支援する補助金を交付。（H26補正前倒し） 市内で生産した加工食品・農畜産物の輸出に取組む企業等に補助金を交付。 海外取引のリスク軽減を図ることで企業の輸出等を加速させるための支援事業を実施。 高付加価値食品の開発等に係るモデル事業を実施。 フード特区の取組みを首都圏の企業にPRするフード特区広報事業を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> フード特区機構負担金 3,739千円 機能性食品開発支援補助金 6,500千円（H26補正前倒し） 新商品開発モデル事業 1,593千円 海外市場開拓等促進補助金 500千円 海外市場開拓支援事業 1,050千円 フード特区広報事業 1,138千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
27年度への改善方向性	<ul style="list-style-type: none"> 食の臨床試験事業補助金を廃止し、機能性食品開発支援補助金を創設（H26補正前倒し） 緊急雇用創出事業（フード特区プロモーション事業）の後継として、総合特区推進事業においてフード特区の取組みのPR活動を実施する。 	減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上		
見直し			維持	○	
新規			低下		
休止					
廃止					
その他					

事業名：企業誘致推進事業

企業立地課 主査（企業立地）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開				
			プログラム	① 「食」の付加価値を高める産業の集積				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
企業・事業所	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・道庁、産業支援機関、企業情報調査会社等からの情報収集 ・企業、産業支援機関等へのPR活動 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
道内外の企業・事業所を江別市へ誘致する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標1	企業・事業所数	社	448,147	434,672	393,391	424,884
対象指標2						
活動指標1	企業、産業支援機関等の訪問数等	社	115	102	100	100
活動指標2						
成果指標1	立地企業・事業所数	社	4	5	2	2
成果指標2						
事業費(A)		千円	1,272	1,305	2,674	1,987
正職員人件費(B)		千円	8,016	7,813	17,995	15,644
総事業費(A+B)		千円	9,288	9,118	20,669	17,631

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致のための情報収集 ・パンフレット等による情報発信 ・企業訪問等 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業信用調査 648千円 ・企業誘致パンフレット一部更新 734千円 ・企業訪問等に係る旅費 376千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：企業立地等補助金

企業立地課 主査（企業立地）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開					
			プログラム	① 「食」の付加価値を高める産業の集積					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	江別市において立地等（新規立地・増設・設備更新）をした企業
手段（事務事業の内容、やり方）	「江別市企業立地等の促進に関する条例」に基づき補助金を交付する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	市内経済の活性化を図る。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	補助金交付企業数	社	2	2	2	2
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	6,593	5,344	35,344	34,900
活動指標 2						
成果指標 1	補助金認定件数（累計）	件	22	22	23	25
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	6,593	5,344	35,344	34,900
正職員人件費 (B)		千円	1,603	7,813	3,912	3,911
総事業費 (A+B)		千円	8,196	13,157	39,256	38,811

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	江別市企業立地等の促進に関する条例に基づく補助金交付	補助金 34,900千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：都市と農村交流事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開				
				プログラム	② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援				
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内農業者及び市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> 「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、都市と農村の交流の推進を図るための事業を行う団体に対して、事業費を補助する。（予算の範囲内） 補助を受けた協議会は、都市と農村の交流を推進するため、それぞれの部会の活動（農産物直売所・貸し農園・加工部会）、部会が連携した活動を行う。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> 農業を介しての都市と農村の人的交流を盛んにする。 農村の自然や文化に触れあうことで心身のやすらぎの場を提供する。 江別産の農畜産物の消費が拡大され、生産者の所得増につなげる。 									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標1	市内農業者	人	1,243	1,175	1,174	1,140
対象指標2	市民	人	121,385	120,802	120,802	120,335
活動指標1	イベント開催回数	回	25	19	20	20
活動指標2	各部会等開催回数	回	10	11	10	10
成果指標1	グリーンツーリズム関連施設の利用者数	人	423,000	438,772	427,000	427,000
成果指標2	イベント参加者の関心度	%	87	97	80	80
事業費(A)		千円	755	970	1,069	992
正職員人件費(B)		千円	6,413	5,078	5,086	5,084
総事業費(A+B)		千円	7,168	6,048	6,155	6,076

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> 江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会に対して補助金を支出 協議会事業：直売所スタンプラリー、農産物加工品ブランドシール作成、野菜栽培講習会、収穫体験ツアーなど 	江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会への補助 （直売所マップ作成 301千円 直売所スタンプラリー 253千円 収穫体験ツアー 74千円 他）

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別産農畜産物ブランディング事業 農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化		
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開		
				プログラム	② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援		
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助 補助金 事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市内農業者及び市民
手段（事務事業の内容、やり方）	<p>〈小麦〉「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、地元産小麦の安定供給等に対して補助する。（予算の範囲内）</p> <p>〈黒毛和牛〉「えぞ但馬牛ブランド化支援事業実施要領」に基づき、次のとおり補助する。①精液等購入経費：補助率1/2以内 ②繁殖牛自家保留：1万円以内/頭 ③受精卵移植：5,500円以内/回</p> <p>〈小麦、黒毛和牛他〉メディアの活用、農場見学会の実施等、市民と生産者をつなぐ取組を行う。</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	市民に認められた農畜産物ブランド品が供給され続けるための仕組みを作ることで、各品目の安定生産を図る。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市内農業者	人	1,243	1,172	1,174	1,140
対象指標 2	市民	人	121,385	120,802	120,802	120,335
活動指標 1	補助金額（小麦関係）	千円	0	0	2,000	2,080
活動指標 2	精液購入等補助金額	千円	600	650	750	750
成果指標 1	特産品の認知個数	品目	0	2	2	2
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	600	650	2,750	0
正職員人件費 (B)		千円	3,607	3,516	3,912	3,911
総事業費 (A+B)		千円	4,207	4,166	6,662	3,911

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランド化小麦地域安定供給補助 ・黒毛和牛優良種雄牛精液購入等補助 ・農畜産物ブランド品PR費 	<p>※平成26年度補正予算に前倒し計上（3,207千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランド化小麦地域安定供給補助 2,080千円 ・黒毛和牛優良種雄牛精液購入等補助 750千円 ・農畜産物ブランド品PR費 377千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性	「きたほなみ」の収量確保に向けた新規助成を行う。（平成26年度補正予算に前倒し計上）			
維持		減少	維持	増加
見直し		向上		○
新規		維持		
休止		低下		
廃止 その他				

事業名：働きたい女性のための就職支援事業 商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化	
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援	
			プログラム	② 潜在労働力の掘り起し（就労支援）	
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続
				区分2	単独
					補助金

事務事業の目的と成果					
対象（誰、何に対して事業を行うのか）					
就職を希望している女性					
手段（事務事業の内容、やり方）					
女性の就職に向けた課題を解決し、就職もしくは再就職ができるように支援する。					
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）					
①女性向けの就職支援イベントの開催や、女性の雇用に積極的な企業に関する情報提供などを行い、女性と企業の接点を増やす。					
②就職に必要なスキルを習得するための研修や企業実習の実施などにより、女性の就職や就職後の定着を支援する。					

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市内の女性数（15～64歳）	人	0	0	38,951	38,227
対象指標 2						
活動指標 1	就職支援イベント開催回数	回	0	0	1	1
活動指標 2	就職支援研修実施回数	回	0	0	1	2
成果指標 1	就職支援イベント来場者数	人	0	0	150	150
成果指標 2	就職者数	人	0	0	24	50
	事業費 (A)	千円	0	0	164	0
	正職員人件費 (B)	千円	0	0	1,565	2,347
	総事業費 (A+B)	千円	0	0	1,729	2,347

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	①女性向けの就職支援イベントの開催 ②就職に必要な研修の実施 ③子育て支援施設に隣接した就職相談窓口の設置	平成26年度補正予算に前倒し計上（26,897千円） ・就職支援イベント 900千円 ・研修、企業実習 22,797千円 ・就職相談窓口等 3,200千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性	①働きたい女性のための就職支援事業（機会提供）、同（技能習得）、同（情報提供）の3事業を統合する ②子育て支援施設のある商業施設内で就職支援イベントを開催することにより、専業主婦等の潜在的な労働力の掘り起こしを図る。 ③研修や企業実習の回数を増やし、より多くの人材の市内企業等への就職を図る。	減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：有給インターンシップ等地域就職支援事業 商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
			プログラム	③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
<ul style="list-style-type: none"> ・市内企業 ・市内大学の学生 	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<p>①市内大学と市内企業が連携して行う有給インターンシップが円滑に進むよう支援する。 ②市内関係機関連絡会議等を通じて市内大学が開催する学内企業説明会に参加する市内企業を支援する。</p>	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<p>①学生の学費・生活費確保と、市内企業の労働力確保の両立を図る。 ②大学生に対して市内企業へ就職するという意識を高め、若年者の市内定住促進を図る。</p>	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市内大学の在籍学生数	人	0	0	11,424	11,167
対象指標 2						
活動指標 1	市内大学の就職関連の取組について情報提供した企業数	数	0	0	815	50
活動指標 2						
成果指標 1	有給インターンシップ参加学生数	人	0	0	5	32
成果指標 2	学内企業説明会参加企業数	社	0	0	5	5
事業費 (A)		千円	0	0	72	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,565	2,347
総事業費 (A+B)		千円	0	0	1,637	2,347

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<p>①有給インターンシップの受入にかかる企業負担の軽減により実施企業拡大を図るとともに、有給インターンシップ参加者への研修支援により学生のスキルアップおよび円滑な有給インターンシップの実施を図る。 ②市内関係機関連絡会議等を通じて市内大学が開催する学内企業説明会に参加する市内企業を支援する。</p>	<p>平成26年度補正予算に前倒し計上（11,770千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有給インターンシップ導入支援 8,626千円 ・有給インターンシップ研修支援 3,079千円 ・事務経費 65千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
27年度への改善方向性	有給インターンシップ受入にかかる企業負担の軽減により実施企業拡大を図るとともに、有給インターンシップ参加者への研修支援により学生のスキルアップおよび円滑な有給インターンシップの実施を図る。	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
維持					
見直し					○
新規					
休止					
廃止					
その他					

事業名：高校生就職支援事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
			プログラム	③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市内高校の生徒	
手段（事務事業の内容、やり方）	
①就業体験（インターンシップ） ②就職希望者に対する面接指導・研修 ③企業説明会	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
①就労観を醸成したり、進路・職業選択の参考にする機会を提供する。 ②自分の適性を把握したり面接時のスキルアップ等のための研修などを実施し、就職活動を支援する。 ③様々な業種・企業の話聞くことで、進路・職業選択の参考にする機会を提供する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市内高校の生徒数	人	0	0	4,724	4,585
対象指標 2	市内高校卒業予定者のうち就職希望者数	人	0	0	181	175
活動指標 1	就業体験の参加生徒数	人	0	0	140	210
活動指標 2	就職希望者に対する研修等の開催回数	回	0	0	25	13
成果指標 1	就業体験に参加した生徒のうち、意義があったと思う生徒の割合	%	0	0	100	100
成果指標 2	就職希望者に対する研修等に参加した生徒のうち、役に立ったと思う生徒の割合	%	0	0	100	100
事業費 (A)		千円	0	0	2,759	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	3,130	2,347
総事業費 (A+B)		千円	0	0	5,889	2,347

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	①就業体験（インターンシップ） ②就職希望者に対する研修 ③企業説明会	平成26年度補正予算に前倒し計上（2,500千円） ・就業体験支援 675千円 ・就職希望者に対する研修等 1,825千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：介護人材育成事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
			プログラム	③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援				
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	補助	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	介護業界での就職希望者
手段（事務事業の内容、やり方）	介護業界での就職を希望する者に介護職に必要な資格取得や職場実習の機会を提供するとともに、介護事業所への就職を支援する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	介護業界での就職を希望する者の資格取得や職場実習を支援し、介護事業所への就職と定着を図る。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市民	人	0	0	0	120,335
対象指標 2						
活動指標 1	資格取得支援等実施回数	回	0	0	0	1
活動指標 2						
成果指標 1	資格取得講習修了者数	人	0	0	0	10
成果指標 2	介護事業所就職者数	人	0	0	0	10
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	1,564
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	1,564

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	介護業界での就職を希望する者に介護職に必要な資格取得や職場実習の機会を提供するとともに、介護事業所への就職を支援する。	平成26年度補正予算に前倒し計上（11,458千円） ・研修 職場実習 11,458千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
27年度への改善方向性	介護業界での就職を希望する者の資格取得や職場実習を支援し、介護事業所への就職と定着を図る。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			○
見直し			維持			
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：市内大学等インターンシップ事業 職員課

政策	08 協働			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
				プログラム	③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援				
開始年度	平成25年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内大学の在学学生 市内大学									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市内大学を通して、市の各部署に学生を受け入れ、就業体験実習を実施する。 実習の終わりに報告会を開催する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市内大学との連携により、学生の職業意識の向上及び市政に対する理解を促進するとともに、将来、市や市内企業等において活躍できる人材を育成する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市内大学の在学学生数	人	0	10,884	10,884	10,429
対象指標 2	市内大学数（短大含む）	校	0	5	5	5
活動指標 1	インターンシップ参加大学数（協定締結大学数）	校	0	4	5	5
活動指標 2						
成果指標 1	インターンシップ参加学生数	人	0	12	10	10
成果指標 2	インターンシップ参加に意義があったと思う学生の割合	%	0	100	100	100
事業費 (A)		千円	0	109	521	0
正職員人件費 (B)		千円	0	2,344	2,347	2,347
総事業費 (A+B)		千円	0	2,453	2,868	2,347

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> 市内大学の在学学生をインターンシップ実習生として受け入れし、職場実習や市政理解のための共通実習を実施する。 実習の終わりには、実習生から実習の成果を発表する実習報告会を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ※平成26年度補正予算に前倒し計上（413千円） ・受け入れ旅費（通勤費対応） 350千円 ・公務出張旅費 63千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性	平成26年度補正予算に前倒し計上	減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：地域発見魅力発信事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	03 観光による産業の振興		プロジェクト	D 地域資源の活用による観光の振興				
			プログラム	① 地域資源の観光への有効活用				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
・周辺市町村	
手段（事務事業の内容、やり方）	
市内を周遊できるマップの作成・配布や地域プロモーション広告を掲載し、江別周辺市町村への住民にPRする。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
地域資源を活用した観光情報を発信し、江別市の知名度向上を図り近隣市の住民や観光客の市内への入り込み数を増やす。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	周辺市町村数	市町村	8	8	8	8
対象指標 2						
活動指標 1	プロモーション事業件数	件	2	7,000	5	6
活動指標 2						
成果指標 1	主要観光施設観光入込客数	人	162,813	757,184	127,300	129,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,696	1,649	2,881	3,015
正職員人件費 (B)		千円	2,405	2,344	3,130	3,129
総事業費 (A+B)		千円	4,101	3,993	6,011	6,144

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・えべつルートマップの作成 ・健康ウォーキングマップの作成 ・えべつプロモーション広告掲載およびバスツアー ・美味しい江別 手提げ袋の作成 他 	<ul style="list-style-type: none"> ・えべつルートマップ作成事業 1,241千円 ・健康ウォーキングマップ作成事業 292千円 ・えべつプロモーション広告掲載事業 590千円 ・ノハナショウブ保存活用事業 625千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
27年度への改善方向性	【ノハナショウブ保存活用事業】平成26年度に寄付を受けたノハナショウブ群生地を観光振興に役立てるため、管理運営を行う。		減少	維持	増加
維持		改革方向性（成果）	向上	○	
見直し			維持		
新規			低下		
休止					
廃止					
その他					

事業名：江別観光協会補助金

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の基本方針	03 観光による産業の振興		プロジェクト	D 地域資源の活用による観光の振興					
			プログラム	② 観光資源のパッケージ化					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	江別観光協会
手段（事務事業の内容、やり方）	「江別市商工労働関係補助金交付規則」及び「江別観光協会補助金交付要領」に基づき、江別観光協会事業への補助金交付
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	近隣市町村と協力し、観光情報の発信や観光客の誘致に努め、観光客の市内への入り込み数を増やす。イベント等により江別の特産品を道外・道内に向けてPRしていくと同時に、観光プロモーションを展開し、市内への誘客を増やす。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	江別観光協会会員数	会員	179	175	180	175
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	1,287	1,335	1,787	1,850
活動指標 2						
成果指標 1	観光協会事業件数	件	7	7	7	7
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,287	1,335	1,787	1,850
正職員人件費 (B)		千円	5,611	5,860	5,868	3,911
総事業費 (A+B)		千円	6,898	7,195	7,655	5,761

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	江別観光協会事業への補助金交付	補助金 1,850千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
27年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加
向上					
維持		○			
低下					
改革方向性（成果）					